



新発田市立東中学校だより

教育目標「進んではげむ、心ゆたかな生徒」

令和3年6月15日

第6号

☎ 0254-22-3824

📠 0254-26-3543

生徒の人権意識を育てる

～新型コロナウイルス感染による差別をゼロに～

人権教育、同和教育主任 本間 誠道

全国的には、新型コロナウイルスの感染状況はやや少なくなっているところもあるようです。しかし、新しい変異株による感染がじわじわと猛威を振るい始めています。今後はその変異株による感染で、感染者数が爆発的に急増することも予想されています。新発田市内でもそれは同じで、「いつ、だれが、どこで感染してもおかしくない状況」にあると言えます。

6月に入り、他人ごとにはできなくなった今、感染症による差別防止の授業を全校で行うことにしました。今までもコロナウイルス感染による差別をやめようという話や取組をしてきました。しかし、今回は、いつもと違い、『実際に自分が感染してしまった』というところから授業を展開しました。

1年前くらいであれば、「自分は感染しないだろう」「自分は大丈夫だろう」で済んでいたかもしれませんが、でも今は違うのです。以下の内容は、授業で実際に使ったワークシート（プリント）と、実際に生徒たちから出された意見等です。ご覧ください。

1 あなたはPCR検査の結果、「陽性」と診断されました。

どんなことが不安ですか。

- ・家族に迷惑をかける ・友だちから避けられるかも
- ・「悪口、陰口」を言われるかもしれない ・噂が広まる
- ・誰かにうつしたかも ・自分は「死ぬ」かもしれない

2 そんなとき、まわりの友だちから

どのような言葉（言動）を言われたら悲しい、つらい気持ちになると思いますか。

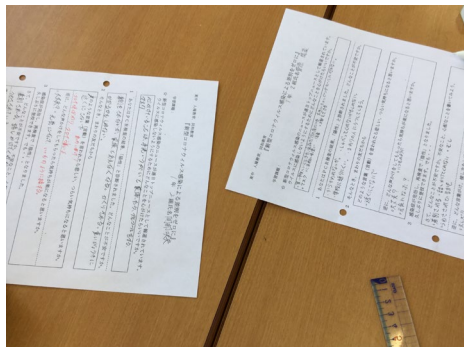
- ・「コロナに感染したって。近づかないようにしよう。」
- ・「どうせ感染対策してなかったんでしょ!？」
- ・「えー? 怖いから近寄らないで」 ・「さ・い・あ・く」

逆に、どんな声かけをしてもらったら気持ちが楽になると思いますか。

- ・「早く治ってまた一緒に遊ぼうね」 ・「大丈夫だよ」
- ・「学校でみんな待ってるよ」 ・コロナの話に触れない
- ・「休んだ分の授業ノート、コピーしておいたからね」



3 感染症が完治し、再検査で「陰性」となりました。久しぶりに登校できます。でも・・・



さて、どんなことが不安ですか。不安なこと、心配なことを書いてみよう。

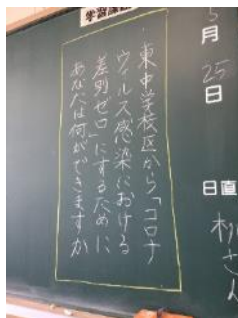
- ・「もう治ったの？」 「まだウィルス残ってんじゃない？」
- ・居場所がなくなっている ・「もう学校来たの？」
- ・避けられるかも ・いつも通り接してくれるか
- ・勉強の遅れ ・変な目で見られたり、陰口を言われる

逆に、どんな言葉がけ、接し方をしてもらえたら安心できますか。

- ・「お帰りなさい」 ・「待ってたよ」
- ・休んだ前とまったく同じように接する
- ・コロナや病気の話に触れない ・普段通り
- ・「久しぶりだね。会いたかったよ」

4 今日の授業で考えたこと、今後あなたが心がけたいこと、取り組んでいくことをスローガン形式で書いてみよう。また、授業の感想でもよいです。

- ・「感染した人は悪くない。感染した人を不安にさせる人が悪い」
- ・「どんなときでも自分やまわりの人を守り、寄り添う心を持とう！」
- ・「差別なし！安心させる言葉がけを！」 ・「温かい心でコロナ差別ゼロに」



- ・「助け合う 心と身体 いじめダメ」
- ・『広げる「いつも通り」の温かみ～日常に戻る第一歩～』
- ・「差別ゼロ コロナに負けるな！」
- ・「コロナになった人の心と身体を支えよう！」
- ・「差別ダメ！みんなで注意 気を付けよう！」
- ・「お帰り 待っていたよ 君のことを」
- ・「友だちを傷付けるウィルスにならない」
- ・「差別ゼロ みんなの町からよい笑顔」
- ・友だちがコロナにかかってもいつもと変わらない態度で優しい気持ちで接したい。
- ・コロナが身近に迫ってきていて誰か（自分も含めて）がかかったとしても差別はせず、責めたり疑ったり絶対しないようにしたい。



- ・感染した人の気持ちに寄り添いたい。自分がされて嫌なことは友だちにもしないようにしたい。
- ・コロナにかからないようにまずは気を付け、努力をする。そして言葉にも気を付けたい。
- ・みんな不安なことが同じでなんか安心した。辛いときこそ助けてあげたいと思った。
- ・実際になってみないとわからないことが多い。でも想像してその人の気持ちは考えることはできるから考えて行動できる。
- ・今日の授業を受けて、自分がかかっても安心して学校にこれそうな気がした。大切な友だちがかかっても今日のことを生かし、励ましたり安心できる言葉をかけたいと思った。

全校で授業を行い、どの学年、どのクラスでも生徒たちは真剣に授業に取り組んでいました。ここに書いたのはほんの一例で、他にもたくさんの人たちが一生懸命考えてくれていました。とても嬉しく感じました。

でも実際に、このようなことに遭遇したとき、このとおりにできる、やれるかどうかは生徒たちは正直不安もあるだろうし、書いたとおりにいかないかもしれません。大人ですら、こうしようと思ってもなかなかうまくいかないことがあります。そんなときこそ、保護者の方々のお力添えが必要なのです。生徒たちの力になれるような言葉がけや支援が大切なのではないのでしょうか。

最後に、当校では生徒たちに次のように指導しています。

- 1 まわりに感染者が出たら、温かく見守ってほしいこと。
- 2 SNSなどで誹謗中傷や差別的な書き込みは絶対にしないこと。
- 3 この学区（小学校及び中学校）からは、コロナ差別ゼロでいきたいこと。

お家でも今一度確認していただき、『この学区からはコロナ差別ゼロでいきたい』です。ご理解とご協力をよろしくお願いします。

◎池の水、全部抜いてみた！



生徒総会で要望のあがった、中庭の池の清掃を実施しました。1日かけて水を抜き、底にたまった泥や落ち葉を、ボランティアの生徒に手伝ってもらって、きれいにみがきました。おそらく、10年以上ぶりの清掃だったのではないかと思います。とてもきれいになりました。

池の中には、フナやドジョウなど魚も10匹ほど暮らしていました。「俺、今度釣った魚もってくるよ」生徒達もきれいになって、うれしそうでした。飼育活動や環境教育等、教育活動にも有効に活用したいと思っています。

◎上級学校訪問を行いました

3 学年部

今年度の上級学校訪問は、市内の敬和学園大学を訪問しました。市の、「しばたの心継承プロジェクト事業」を活用し、バス代等は、新発田市の補助を受けて実施しています。

東中学校出身の先輩が、大学の生活について説明してくれました。自分の将来の夢に向かって、勉強している姿を実際に見て、生徒達も、様々思うところがあったようです。高校だけでなく、その先を考えて進路を考えていくことは、とても大切なことです。生徒自身の将来の夢について、ぜひ、ご家庭でも話題にしてください。

きれいなキャンパスを見学した後、お昼は大学自慢の学食を体験しました。生徒それぞれ、食べたいメニューを注文し、美味しそうに食べていました。



◎下越大会激励会スナップ

昨年度、大会に参加することができなかった、現高1の分まで、十分に力を発揮してきてほしいと思います。直前まで、自己管理をしっかりと行い、不注意な怪我、風邪等を予防し、悔いの無い大会となるよう、願っています。

